

Truma CP plus



Operating instructions
Installation instructions
To be kept in the vehicle!

Page 24
Page 44

操作説明書
取付説明書



Truma CP plus control panel

Truma CP プラス コントロール パネル

操作手順	
使用目的	25
安全に関する注意項	25
重要な注意事項	25
ディスプレイとコントロール要素	26
回転式プッシュボタン	26
戻るボタン	26
初回起動	27
起動	27
機能	27
オン/オフの切り替	27
iNet Box と連動したAPPモード	28
室温の変更	28
お湯のレベルの変更	29
エネルギー源の選択	30
ファンレベルの選択	31
時間スイッチの設定	32
照明のオン/オフの切り替え	34
時間の設定	34
サービスメニュー	35
特殊ディスプレイ	37
230 V 電源電圧使用能	37
Truma アプリと iNet Box	37
リモートコントロール(エアコン システム)	37
外部コントロール パネ(CIBUS)	37
警告	38
障害	38
技術データ	39
メンテナンス	39
廃棄	39

操作手順

トラブルシューティング ガイド (コンビ ガス ヒーター)	40
トラブルシューティング ガイド (コンビ ガス ヒーター)	41
製造年 04/2018 以降	41

トラブルシューティング ガイド

(コンビ ディーゼル暖房システム)	42
トラブルシューティング ガイド (エアコン システム)	43

設置手順安全に関する注意事項	44
セット内容	44
説明	44
寸法	44
設置場所の選択	45
接続	45
組み立て	46

Symbols used



The appliance must only be installed and repaired by an expert.



Symbol indicates possible hazards.



Note containing information and tips.



Observe the ESD regulations! Electrostatic charging can destroy the electronics. Ensure that potential compensation is present before touching the electronics.

Operating instructions

電子式 Truma CP plus1 コントロール パネルは、Combi CP plus ヒーターおよび/または Truma エアコン システムを制御および監視するために使用されます。

Truma CP plus1 は、Truma アプリおよび Truma iNet Box を介して接続された機器を操作するためのインターフェイスとして機能します。

Truma CP plus1 では、以下のシステムを操作できます

:- Saphir compact2

- Saphir comfort RC

- Aventa eco

- Aventa comfort3

Truma CP plus1 は、キャンパバンおよびモーター ホームへの設置を目的としています。ポートへの設置は許可されていません。



Truma CP plus コントロール パネルは、古い Combi ヒーターに後付けできます。
詳細は、Truma サービスまたは認定サービス パートナーにお問い合わせください。

Safety instructions

- Truma CP plus コントロール パネルは、技術的に完璧な状態にある場合にのみ操作してください。

- 修理は直ちに行う必要があります。この操作マニュアルのトラブルシューティング ガイドに解決策が記載されている場合にのみ、自分で修理を行ってください。

- Truma CP plus コントロール パネルの修理作業や変更は行わないでください。

- 故障した Truma CP plus コントロール パネルは、製造元または製造元のサービス部門のみが修理できます。

- 燃料補給中、立体駐車場、ガレージ、フェリー内では、LP ガス器具を絶対に使用しないでください。Truma アプリまたはタイマー スイッチによってヒーターが再びオンにならないように、Truma CP plus コントロール パネルをオフにしてください (「オン/オフの切り替え」を参照)。

Important notes

- システムへの電源供給が中断された場合は、時間/タイムスイッチをリセットする必要があります。- 新しい機器または交換機器 (ヒーター、エアコンシステム、または Truma iNet Box) がバスシステムに接続されている場合は、「初期起動」で説明した手順を繰り返す必要があります。

- Combi CP plus ヒーターが Truma CP plus コントロール パネルに接続されている場合、ZUCB タイムスイッチは使用できなくなります。

空調システム - IR リモコンと Truma CP plus コントロール パネルの共用

- Truma CP plus コントロール パネルを接続した後でも、IR リモコンを使用して空調システムを制御できます。

Truma CP plus コントロール パネルは、空調システムの IR リモコンを使用して行われたすべての設定を認識します。IR リモコンは、ディスプレイに表示される設定のみを送信します (双方向通信はありません)。- Truma CP plus コントロール パネルのタイム スイッチのみを使用して、必要な期間の開始時間と終了時間を明確に定義できます。

1: CI-BUS 用の Truma CP plus CI-BUS - 後付け不可。

2: シリアル番号 23091001 以降。Combi CP plus ヒーターと併用する場合、空調システムとヒーター間の「コントロールパネル ケーブルカップリング」が絶対に必要です。「コントロールパネル ケーブルカップリング」は別途注文してください。インバーター TG 1000 sinus と併用不可。

3: シリアル番号 24084022 以降。

GB 25

Display and control elements



- 1 = ディスプレイ
- 2 = ステータス バー
- 3 = メニュー バー (上部)
- 4 = メニュー バー (下部)
- 5 = 230 V 主電源インジケータ (電源)
- 6 = タイム スイッチ ディスプレイ
- 7 = 設定 / 値
- 8 = ロータリー プッシュ ボタン
- 9 = 戻るボタン

メニューは行 (3 + 4) で選択でき、ロータリー プッシュ ボタン (8) を使用して設定を行うことができます。ディスプレイ (1) の背景は点灯しています。戻るボタン (9) はメニューから戻るときに使用できます。

回転プッシュボタン

設定値とパラメータは、回転プッシュボタン (8) を使用して選択および変更でき、タップして保存できます。

選択したメニュー項目が点滅します。



Rotate clockwise

- メニューを左から右に移行します。
- 値を増やします (+)。



Rotate anticlockwise

- メニューを右から左へ移行します。
- 値を減らします (-)。



Tapping

- 選択した値を保存します。
- メニュー項目を選択し、レベル設定に切り替えます。

Long press

- メインスイッチのオン/オフ。
- 機器の検索中に Truma iNet Box が認識された場合、回転プッシュボタンの機能が変わります (28 ページの「iNet Box と連動した APP モード」を参照)。

Back button

操作の途中で戻るボタン (9) を押すと、メニューに戻り、これまでの設定が破棄されます。

以前の値が保持されます。

Initial start-up

初期起動

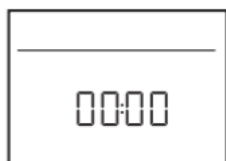
初期起動を実行するには、次の手順が必要です。

- 電源をオンにします。CP plus コントロールパネルと Combi には 12 V の直流電圧、エアコンシステムと Combi E には 230 V の主電源電圧。
 - メニュー項目「サービスメニュー」->「リセット」->「PR SET」で機器の検索を開始します。
- 確認後、Truma CP plus コントロールパネルは自動的に初期化されます。この処理中はディスプレイに「INIT ..」と表示されます。これにより、見つかった機器が Truma CP plus コントロールパネルに保存されます。

Start-up

Start / Stand-by screen

Truma CP plus コントロールパネルを電源に接続した後、数秒後にスタート画面が表示されます。



- i** - ディスプレイは、時間と設定室温の間で切り替わります。
- Truma アプリ、空調システムの IR リモコン、または CI BUS 経由でのコマンドによる特別なディスプレイ (37 ページの「特別なディスプレイ」を参照)。
- 修理 / 改造後は、「初期起動」で説明した手順を繰り返す必要があります。

Functions

Truma CP plus コントロールパネルのメニューバー (3、4) の機能は、任意の順序で選択できます。操作パラメータは、ステータスバー (2) とディスプレイ (5、6) に表示されます。設定レベルを選択

- 回転プッシュ ボタンをタップします。ディスプレイに設定レベルが表示されます。最初のアイコンが点滅します。



Switching on and off

電源を入れる switch ON

- 回転プッシュボタンをタップします。



- オンにすると、以前に設定した値/動作パラメータが再度有効になります。

電源を切る switch OFF

- 回転プッシュボタンを **4 秒**以上押しします。



- 2 秒後にディスプレイに「APP」1 が表示されます。
- さらに 2 秒後に「OFF」が表示されます。
- Truma CP plus コントロールパネルの無効化手順は、内部の暖房または空調システムのアフター ランにより、数分遅れる場合があります。

iNet Box との組み合わせのみ。

GB 27

iNet Boxと連携したAPPモード

Operation

操作APP モードでは、接続された機器と Truma CP plus コントロールパネルはスタンバイ状態になります。

- 暖房機能なし。
- 温水暖房なし。
- エアコン システムの作動なし。
- Truma CP plus コントロールパネルに時間スイッチ機能なし。
- CP plus コントロールパネルは、Truma アプリまたはエアコン システムの赤外線リモコンを介してコマンドを受信する準備が整った状態のままです。これは、接続された機器が Truma アプリまたはエアコン システムの赤外線リモコンを介して操作可能であることを意味します。

APP モードの起動

- ディスプレイに「APP」が表示されるまで、回転プッシュ ボタンを約 2 秒間押します。
- 回転プッシュ ボタンを放します。
- 以前に設定した値が保存されます。

APP モードの終了

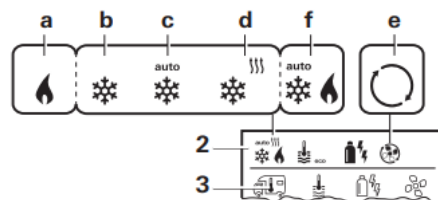
- Truma アプリまたはエアコン システムの赤外線リモコンを介して新しい値が決定された場合。
- 回転プッシュ ボタンを押して Truma CP plus コントロールパネルが起動された場合。以前に保存された値が、新しい操作に受け入れられます。

(* 次回、起動時にデータを上書き)



室温の変更

- 回転プッシュボタンでメニューバー (3) のアイコンを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。
- 接続されている機器に応じて、回転プッシュボタンを使用して、暖房システム (HEATER)、空調システム (AC)、または自動空調システム 1 (AUTO) を選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして選択を確定します。
- 回転プッシュボタンで希望の温度を選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確定します。



Heater (HEATER) ヒーター

設定可能な温度範囲 5~30° C (1° C 単位)



- ヒーターをオフにするには、5° C 未満の温度範囲 (オフ) を選択する必要があります。

- 1: 自動空調制御 (AUTO) は、サービスメニューで「ACC」が有効になっている場合のみ有効です (35 ページの「サービスメニュー」を参照)。
工場出荷時のデフォルト設定は「無効」です。
- 2: 希望の室温に達するまでシンボルが点滅します。

Air conditioning system (AC)

設定可能な温度範囲 16～31° C (1° C 単位)

b = COOL – エアコンシステム = オン

c = AUTO – エアコンシステム = 自動に設定

d = HOT – エアコンシステム = 暖房モード

e = VENT – エアコンシステム = 空気循環モード



回転プッシュボタンで、温度変更が出来ます。
(スタンバイ画面)

Automatic climate control (AUTO)

設定可能な温度範囲は 18～25° C (1° C 刻み)

ヒーターとエアコンの自動切り替えにより、車内の温度を一定に保てます。

f = AUTO

– 自動空調制御が作動中

自動空調制御による操作の要件

– ヒーターとエアコンシステムが接続されている必要があります。

– サービスメニューで自動空調制御「ACC」を有効にする必要があります (35 ページの「サービスメニュー」を参照)。



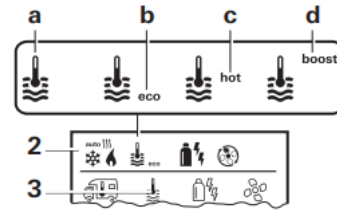
Change hot water level

回転プッシュボタンでメニューバー (3) のアイコンを選択します。

– 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。

– 回転プッシュボタンで希望のレベルを選択します。

– 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



– = OFF – 温水生成器がオフになります。

a = ボイラー 1 – ボイラーがオンになります。

b = eco2 – 温水温度 40° C

c = hot – 温水温度 60° C

d = boost1 – ボイラー内の水を最大 40 分間、急速加熱します
(ボイラー優先)

その後、水温は 2 回の加熱サイクル (約 62° C) の間、より高いレベルで維持されます – コンビディーゼルではありません。設定水温に達した後、部屋の暖房は継続されます。

1: このシンボルは、必要な水温に達するまで点滅します。

2: 温水温度は、室内と給湯器の併用で 40° C で限られた時間のみ維持できます。

オーストラリアのモデルではご利用いただけません。

GB 29



Select energy source

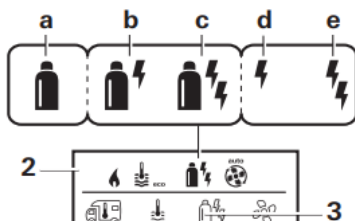
エネルギー源の選択

回転プッシュボタンでメニューバー (3) のアイコンを選択します。

– 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。

– 回転プッシュボタンで希望のエネルギー源を選択します。

– 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



アイコン	動作モード	エネルギータイプ
a	Gas / Fuel	Gas ² / Diesel ²
b	MIX 1 ¹	Electric (900 W) + Gas ² / Diesel ²
c	MIX 2 ¹	Electric(1800 W) + Gas ² / Diesel ²
d	EL 1 ¹	Electric (900 W)
e	EL 2 ¹	Electric(1800 W)

1: 混合および電気モード。電気加熱要素を備えたヒーターでのみ可能です。例: Combi E CP plus。

2: ガス/ディーゼル用の電力。対応するヒーターの取扱説明書を参照してください。

ヒーターがオンになるとすぐに (室温、温水レベルが有効)、ステータスラインに前回の加熱手順で選択されたエネルギータイプが表示されます。工場出荷時の設定はガス / ディーゼルです。

Special features in mixed mode

– 主電源電圧 230 V の中断:

暖房システムは自動的にガスおよびディーゼルモードに切り替わります。

230 V 電源が回復すると、暖房システムは自動的に混合モードに戻ります。

– 燃焼手順の障害 (例: 燃料不足)。

Combi Gas

暖房システムは自動的に電気モードに切り替わります。ヒーターが再び混合モードで動作するには、Truma CP plus コントロールパネルで障害の原因を修復し、確認する必要があります。

38 ページの「障害」を参照してください。

Combi Diesel

暖房システムに障害が発生します。ヒーターが再び混合モードで動作するには、障害の原因を修復し、Truma CP plus コントロールパネルで確認する必要があります。障害が続く場合は、「電気」エネルギータイプに切り替えます。

Special features in electric mode

– 230 V 電源が中断され、12 V 電源がオンになると、ディスプレイにエラーコードが表示されます。

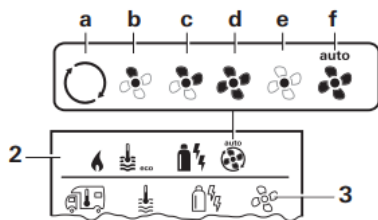
– 230 V 電源が回復すると、ヒーターは既存の設定で自動的に起動します。エラーコードは消えます。



Select fan level

暖房/空調システム接続時

- 回転プッシュボタンでメニューバー (3) のアイコンを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。
- 回転プッシュボタンで希望のファンレベルを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



Heater (HEATER)

アイコン	動作モード	説明
–	OFF	ファンはオフです。 (機器が動作していない場合にのみ選択できます)。
a	VENT ¹	機器が作動しておらず、温水発生器がオフになっている場合、空気は循環します。
b	ECO	10 段階の速度設定が可能です。
c	HIGH ²	低速ファンレベル
d	BOOST ³	高速ファンレベル 急速暖房 選択した室温と実際の室温の差が 10° C を超える場合に使用可能



ヒーターがオンになるとすぐに (室温、温水レベルを選択)、ステータスバー (2) に前回の加熱手順で選択されたファンレベルが表示されます。
工場出荷時の設定は「ECO」です。

Air conditioning system (AC)

アイコン	動作モード	説明
–	OFF	ファンはオフです。 (機器が動作していない場合にのみ選択できます)。
a	–	–
b	LOW	低速ファンレベル
c	MID	中速ファンレベル
d	HIGH	高速ファンレベル
e	NIGHT	超静音ファン動作
f	AUTO	ファンレベルの自動選択。 AUTOモードでは変更できません

Automatic climate control (AUTO)

自動空調制御ではファンレベルを選択できません。

- 空調システムのファンレベルは自動的に決定されます。
- ヒーターは「ECO」のみ使用できます。

- 1: 使用頻度によってはモーターの摩耗が増加する可能性があります。
- 2: ファンレベル「高」では、消費電力が増加し、騒音レベルが上昇し、モーターの摩耗が増加します。
- 3: コンビディーゼルではご利用いただけません。

GB 31



Set time switch



有毒な排気ガスの危険。

作動中のタイムスイッチは、車両が駐車されているときでもヒーターをオンにします。ヒーターの排気ガスは、密閉された空間 (ガレージ、作業場など) では有毒になる可能性があります。

車両が密閉された部屋に駐車されている場合:

- ヒーターへの燃料供給 (ガスまたはディーゼル) を遮断します。
- Truma アプリまたはタイムスイッチによってヒーターが再びオンにならないように、Truma CP plus コントロールパネルをオフにします (「オン/オフの切り替え」を参照)。



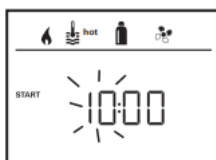
- 空調システムが作動しているときは、Truma CP plus コントロールパネルのタイムスイッチは、必要な期間の開始時間と終了時間を明確に定義するためにのみ使用してください。
- タイムスイッチがアクティブ (オン) になっている場合は、最初にタイムスイッチの非アクティブ化メニューが表示されます (オフ)。

- 回転プッシュボタンでメニューバー (4) のアイコンを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。

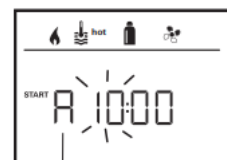
Enter start time 開始時刻を入力

- 回転プッシュボタンで時間、分を設定します。

24 h mode



12 h mode

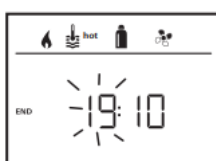


A = a. m.
P = p. m.

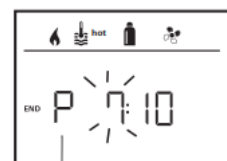
Entering the end time 終了時刻を入力

- 回転プッシュボタンで時間、分を設定します。

24 h mode



12 h mode



A = a. m.
P = p. m.

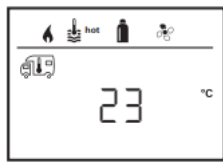


入力中に開始/終了点を超えた場合、次の開始/終了点に到達するまで動作パラメータは考慮されません。

それまでは、タイムスイッチの外部で設定された動作パラメータは有効なままです。

Set room temperature

- 接続されている機器に応じて、ロータリー プッシュ ボタンを使用してヒーター、エアコンシステム、または AUTO を選択します。
- ロータリー プッシュ ボタンをタップして選択を確定します。
- ロータリー プッシュ ボタンで必要な室温を選択します。
- ロータリー プッシュ ボタンをタップして値を確認します。



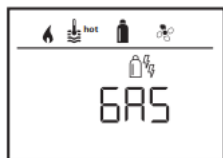
Set hot water level

- 回転プッシュボタンで必要なお湯のレベルを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



Select energy source

- 回転プッシュボタンで必要なエネルギー源を選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



i 電気加熱要素を備えた暖房システムが接続されている場合、エネルギー タイプの選択メニューが表示されます。

Select fan level

- 回転プッシュボタンで希望のファンレベルを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



i ファン レベル選択メニューは、ヒーター/温水レベルが設定されている場合にのみ使用できます。

自動気候制御 AUTO では使用できません。

Activate time switch (ON)

- 回転プッシュボタンで時間スイッチをアクティブにします (ON)。
- 回転プッシュボタンをタップして値を確認します。



i タイムスイッチは、たとえ数日間であっても、非アクティブ (OFF) にされるまでアクティブのままです。
- タイムスイッチがプログラムされ、アクティブになっている場合、タイムスイッチアイコンが点滅します。

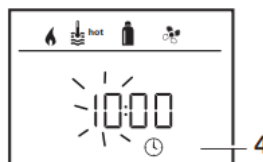
Deactivate time switch (OFF)

- ロータリー プッシュ ボタンをタップして設定レベルを変更します。
- ロータリー プッシュ ボタンで時間スイッチを無効にします (OFF)。
- ロータリー プッシュ ボタンをタップして値を確認します。



Set time

Display, 24 h mode



Display, 12 h mode



A = a. m.
P = p. m.

- 回転プッシュボタン (8) で、メニューバー (4) の「時間設定」シンボルを選択します。

時間表示が点滅します。

- 回転プッシュボタン (8) で時間を設定します。
- 回転プッシュボタン (8) をもう一度タップすると、分表示が点滅します。
- 回転プッシュボタン (8) で分を設定します。
- 回転プッシュボタン (8) をタップして値を確定します。



Switch lighting on / off

エアコンシステムが接続されている場合、使用可能です

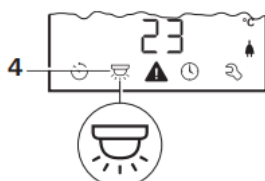
Aventa comfort または
Aventa eco

- 回転プッシュボタンでメニューバー (4) のアイコンを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップして設定レベルを変更します。
- 回転プッシュボタンで必要な機能を選択します。

1-5- 照明をオンにします。
明るさは5段階で選択できます。

OFF- 照明をオフにします。

- 回転プッシュ ボタンをタップして値を確認します。





Service menu

1. ヒーターの室温センサーの校正 (オフセット)

ヒーターの室温センサーは、センサーの設置状況に合わせて個別に調整できます。

0°C〜-5°Cの範囲で0.5°C刻みで設定できます。

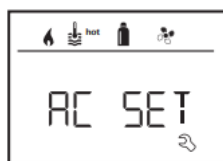


例: 室温を 23 ° C に設定;
オフセット = -1 ° C;
- ヒーターの設定値 = 22 ° C

プリセット: 0 ° C (摂氏)。

2. AC SET^{1,2}

自動空調制御の作動中、感知された室温は、冷房時と暖房時で異なって感じられることがあります。「AC SET」は、冷房と暖房のオフセットを設定するために使用します。設定は、0 ° C 〜 +5 ° C の範囲内で 0.5 ° C 単位で行うことができます。



例: 室温を 23 ° C に設定;
AC SET = 2 ° C
- エアコンシステムの設定値 = 25 ° C

プリセット: +1 ° C (摂氏)。

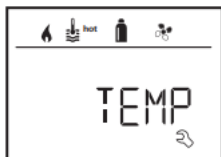
- 1: エアコンとヒーターが接続されている場合にのみ使用できます。
2: ACCが「ON」に設定されている場合にのみ使用できます。

- 暖かい空気ダクト、冷たい空気ダクト、その他の熱源の近くに置かないでください。
- 空気出口からの暖かい空気または冷たい空気が室温センサーに当たらないようにしてください。Aventa エアコンシステムの空気スロットルを調整するときは、特にこの点に注意してください。
- 空気の循環が良好で、車両の天井に当たらないようにしてください。

Truma のディーラー / Truma パートナーは、自動空調システムを正しく設置するためのトレーニングを受けています。
当社のディーラー / Truma パートナーは、www.truma.com で見つけることができます。

4. °C / °F 温度表示

温度表示を °C (摂氏) または °F (華氏) から選択します。



Presetting: °C (Celsius).

5. 背景照明の変更

Truma CP plus コントロールパネルの背景照明を 10 段階で変更します。



3. ACC¹

自動気候制御機能 AUTO は、「ACC」で起動またはブロックされます。

- ON - 自動空調制御機能 AUTO が有効になります。自動空調制御機能 AUTO は、室温メニューで選択できます。
- サービスメニューに「AC SET」が表示されます。
- OFF - 自動空調制御機能 AUTO がブロックされています。



プリセット: OFF

- i** Truma 自動空調コントロールの機能は、適切な取り付けによって左右されます。

Truma ディーラー / パートナーが、お客様の車両が適合するかどうかを喜んでアドバイスいたします。

Requirements for the automatic climate control functioning as 自動空調制御が期待通りに機能するための要件:

1. 空調システムとヒーターは、自動空調が適用される車両エリア全体をカバーします。
2. ヒーターの室温センサーは自動空調制御のリードセンサーです、適切な場所、つまり
 - 必要な室温に達するエリアに設置する必要があります。
 - 外気温や日光の影響を受けないようにします。

GB 35

6. 12時間/24時間モード

12時間(午前、午後)/24時間モードで時間を表示します。



Presetting: 24 h mode.

7. 言語を変更する

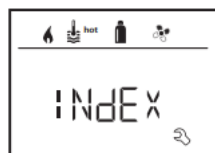
言語 (ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語) を選択します。



Presetting: English

8. バージョン番号の表示

ヒーター、エアコンシステム、Truma CP plus コントロールパネル、または iNetBox のバージョン番号を表示します。



Example:
H 1.20.01 -> H = Appliance; 1.20.01
= Version number

アプライアンス

C = Truma CP plus コントロールパネル
C = Truma CP plus コントロールパネル CI-BUS
A = 空調システム
H = ヒーター
T = Truma iNet ボックス

9. プリセット (リセット)

リセット機能は、Truma CP plus コントロールパネルを工場出荷時の設定にリセットします。これにより、すべての設定が削除されます。新しく接続された機器が認識され、Truma CP plus コントロールパネルに保存されます。
- 電源をオンにします CP plus コントロールパネルと Combi の場合は 12 V の直流電圧、エアコンシステムと Combi E の場合は 230 V の主電源電圧。

リセットを実行します

- ロータリープッシュボタン (8) で「RESET」を選択します。
- ロータリープッシュボタン (8) をタップします。
- ディスプレイに「PR SET」が表示されます。
- ロータリープッシュボタン (8) をタップして確定します。



確認後、Truma CP plus コントロールパネルは初期化されます。
進行中はディスプレイに「INIT..」と表示されます。



Warning

このシンボルは、動作パラメータが未定義の状態に達したことを示します。この場合、関係する機器は動作を続けます。動作パラメータが再び目標範囲内に入ると、このシンボルは自動的に再び消えます。



警告コードを読み出す

- 回転プッシュボタンでアイコンを選択します。
- 回転プッシュボタンをタップします。現在の警告コードが表示されます。トラブルシューティングガイド (40 ページ以降) を参考にして、警告の原因を特定し、解決することができます。



W = Warning
42 = Fault code
H = Appliance
H = Heater
A = Air conditioning system

原因が解消した / 設定レベルに戻る

- 回転プッシュボタンをタップします。

原因が解消していない / 設定レベルに戻る

- 戻るボタンを押します。

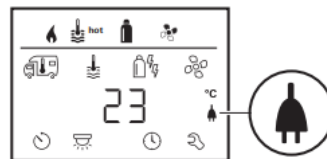
i この場合、Truma CP plus コントロールパネルの警告は確認されず、警告シンボルが残ります。

影響を受ける機器は警告状態のままです。
接続されている他の機器は操作できます。

特別な表示

230 V の主電源電圧が利用可能

このシンボルは、接続されたヒーターおよび/またはエアコンシステムで 230 V の主電源電圧 (電力) が利用可能であることを示します。



Truma アプリと iNet Box

モバイル端末の Truma アプリからコマンドが送信されると、ディスプレイに「APP」と表示されます。

赤外線 (IR) リモコン (エアコンシステム)

エアコンシステムの赤外線リモコンからコマンドが送信されると、ディスプレイに「IR」と表示されます。

外部コントロールパネル (CI-BUS)

CI-BUS で外部コントロールパネルからコマンドを送信すると、ディスプレイに「CI」が表示されます。



Truma CP plus コントロールパネル CI-BUS は、工場でのみ構成される当社独自のバリエーションです。

GB 37

障害

障害が発生した場合、Truma CP plus コントロールパネルはすぐに「障害」メニューレベルにジャンプし、障害の障害コードを表示します。障害の原因は、トラブルシューティングガイド (40 ページ以降) の助けを借りて特定し、解決することができます。



E = Error
112 = Error code
H = Appliance
H = Heater
A = Air conditioning system

原因が解消されました / 設定レベルに戻ります

- 回転プッシュボタンをタップします。ディスプレイがスタンバイモードの場合、タップすると背景照明が点灯し、もう一度タップして障害を確認する必要があります。
- それぞれの機器が再起動します。



接続されたアプライアンスの内部アフターランのため、これには数分かかる場合があります。

原因が解決されない場合、障害は再び発生し、コントロールパネルは再び「障害」メニューレベルにジャンプします。



コントロールパネルディスプレイに障害コードが点滅する場合は、最大 15 分経過するまでリセットできません。

原因が解消されていない / 設定レベルに戻る

- 戻るボタンを押します。



この場合、Truma CP plus コントロールパネルの障害は認識されず、警告シンボルはそのまま残ります。

機器は障害状態のままです。接続されている他の機器は操作できます。

Technical data

Display	LCD, monochrome, with background lighting
Dimensions (L x W x H)	92 x 103 x 40 mm
Operating temperature range	-25 °C to +60 °C
Storage temperature range	-25 °C to +70 °C
Interfaces	
CP plus	TIN-Bus
CP plus CI-BUS	TIN-Bus, CI-BUS
Power supply	8 V – 16.5 V
Power consumption	max. 65 mA (100 % background lighting) 6.5 mA – 10 mA (Standby)
Quiescent current consumption	3 mA (Off)
Weight	approx. 100 g
Protection class	Class III
Protection type	IP00



Subject to technical changes.

メンテナンス

Truma CP plus コントロール パネルはメンテナンス不要です。フロント パネルを清掃するには、湿らせた非研磨性の布を使用してください。それでも十分でない場合は、中性石鹸水を使用してください。

廃棄

Truma CP plus コントロール パネルは、使用されている各国の行政規制に従って廃棄する必要があります。

国の規制と法律 (ドイツでは、廃車規制など) を遵守する必要があります。

GB 39

Installation instructions

Safety instructions



安全に関する注意事項
車載設備は、それぞれの使用国の技術規制および行政規制に準拠する必要があります (例: EN 1648、VDE 0100-721)。その他の国では、関連する規制を遵守する必要があります。国内の規制および規則に従う必要があります。

Scope of delivery

セット内容

Truma CP plus コントロール パネル 1 台
カバー 1 個 (タイプによって異なります)
ネジ 1 本 (コントロールパネル上部を固定)
壁取り付け用ネジ 4 本 (タイプによって異なります)
操作および設置手順 1 セット
12 V コネクタ ケーブル 30 cm 1 本 (+ = 赤、- = 赤/黒)
1 A ヒューズ付きヒューズホルダー 1 個 (タイプによって異なります)
TIN バス コネクタ ケーブル 6 m 1 本 (タイプによって異なります)

別売り:

CP plus カバー
さまざまな長さのコネクタ ケーブル (TIN バス)
DBT 取り付けフレーム

説明

Truma CP plus コントロール パネル (極性反転保護付き) には、12 V コネクタ ケーブルを介して電圧が供給されます。コントロール パネルは、コネクタ ケーブル (TIN バス) を介して Combi CP plus ヒーターおよび/または空調システム、または Truma iNet Box に接続されます。

Dimensions

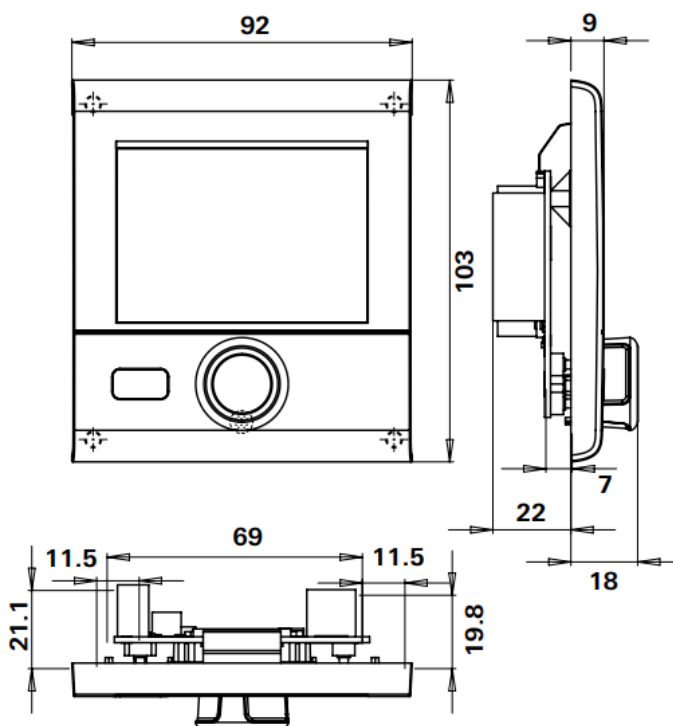


Figure 1 – Dimensions in mm. Illustration not to scale

設置場所の選択

Truma CP plus コントロールパネルは、湿気や湿度から保護された場所に設置してください。

i 文字の読みやすさを最適にするために、Truma CP plus コントロールパネルを目の高さに取り付けます。

– Make the installation opening.

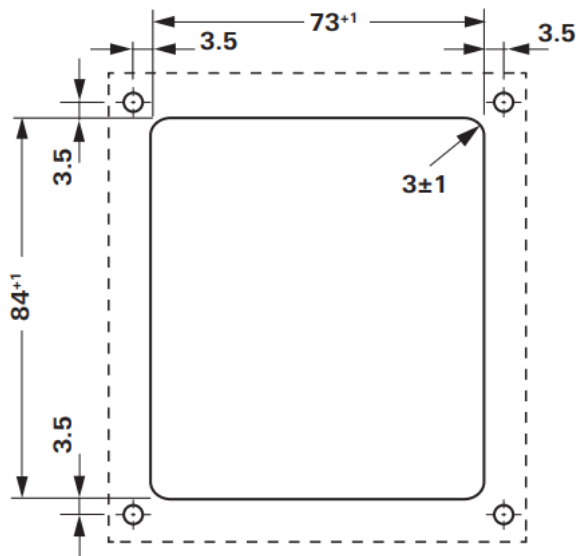


Figure 2 – Dimensions in mm. Illustration not to scale

Connection



規則を守ってください！



プラスケーブルには 1 A のヒューズが必要です。



TIN バスと 12 V 動作電圧のコネクタ ケーブルを、張力をかけずにループ状に配線します。

プラグ接続に張力をかけずに、コントロールパネルを設置開口部から約 20 cm 引き出すことができる必要があります。コントロールパネルに接続されているコネクタ ケーブルを絶対に引っ張らないでください。

– コネクタ ケーブル (TIN バス) をヒーター、エアコンシステム、または Truma iNet Box に接続し、Truma CP plus コントロールパネルに差し込みます。

– 12 V コネクタ ケーブルを差し込み、スイッチなしの 12 V 動作電圧 (永久正極) に接続します。ヒーターと Truma CP plus コントロールパネルは、同じ回路に接続する必要があります。

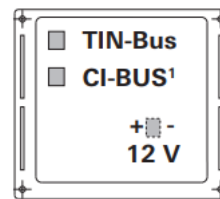


Figure 3 – Back view

¹ Only in the case of variant Truma CP plus CI-BUS. An external control panel (master) is connected at the factory.

GB 45

組み立て/取り付け

– フレームを 4 本のネジで壁に固定します。

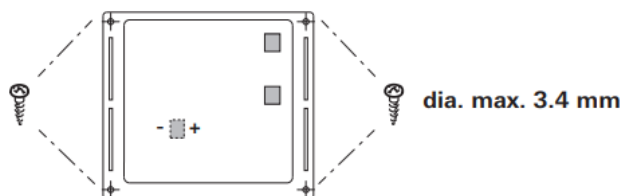


Figure 4 – Front view

- 2 つのラッチ ラグを使用して、コントロールパネルの上部をフレームに引っ掛けます。
- コントロールパネルの上部をネジで所定の位置に固定します。
- 回転プッシュ ボタンを軸にスライドさせます。

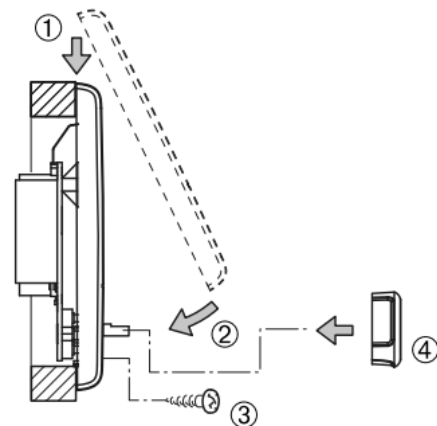


Figure 5

– コントロールパネルの上部と回転式プッシュ ボタンを取り付けます。

技術的な変更が行われる場合があります。

Troubleshooting guide (Combi gas heater)

Fault code	Cause	Remedy
# 17	Summer mode with empty water container	Switch heater off and allow to cool. Fill boiler with water
# 18	Warm air temperature exceeded:	
	Not all warm air ducts are connected	Check whether the 4 warm air ducts are connected
	Warm air outlets blocked	Check the individual outlet openings
	Circulated air intake blocked	Remove the circulated air intake blockage
# 21	Room temperature sensor or cable faulty	Inspect the room temperature sensor cable, replace if faulty Check the resistance of the room temperature sensor. 15 °C – 16.2 kOhm / 20 °C – 12,6 kOhm / 25 °C – 10.0 kOhm Replace room temperature sensor if faulty
# 24	Risk of low voltage. Battery voltage is too low < 10.4 V	Charge battery
# 29	FrostControl heating element has a short circuit	Disconnect heating element plug from electronic control unit. Replace heating element
# 42	Open window above cowl (window switch)	Close window.
# 43	Overvoltage > 16.4 V	Check battery voltage / voltage sources such as the charger
# 44	Low voltage. Battery voltage is too low < 10.0 V	Charge battery. If necessary replace old battery
# 45	No 230 V operating voltage	Restore 230 V operating voltage
	230 V fuse defective	Replace 230 V fuse (see Combi operating instructions)
	Overheating protection has been triggered	Reset overheating protection (see Combi operating instructions)
# 112	Gas cylinder empty	Replacing a gas cylinder
# 121	Gas cylinder or quick-acting valve in the gas supply line closed	Check gas supply and open valves
# 122		
# 202	Gas pressure regulation system iced up	Use regulator heater (EisEx)
# 211	Butane content in the gas cylinder too high	Use propane. Butane is unsuitable for heating, particularly at temperatures lower than 10 °C.
# 212	Combustion air infeed or exhaust outlet is sealed	Inspect openings for obstructions (slush, ice, leaves, etc.) and remove any obstructions
	Gas pressure regulation system faulty	Inspect / replace gas pressure regulation system
# 255	Heater has no 12 V power supply	Ensure 12 V power supply
	No connection between heater and control panel	Make connection between heater and control panel

If these measures do not remedy the fault, or if fault codes are displayed that you cannot find in the troubleshooting guide, please contact Truma Service.

40 

Troubleshooting guide (Combi Gas heater) from year of construction 04/2018

Fault code	Cause	Remedy
# 255	Heater has no 12 V power supply	Ensure 12 V power supply
	No connection between heater and control panel	Make connection between heater and control panel
# 301 # 417	Overvoltage > 16.4 V	Check battery voltage / voltage sources such as the charger
# 302 # 418	Low voltage. Battery voltage is too low < 10.0 V	Charge battery. If necessary replace old battery
# 303 # 411	Risk of low voltage. Battery voltage is too low < 10.4 V	Charge battery
# 401	Summer mode with empty water container	Switch heater off and allow to cool. Fill boiler with water
# 402	Warm air temperature exceeded:	
	Not all warm air ducts are connected	Check whether the 4 warm air ducts are connected
	Warm air outlets blocked	Check the individual outlet openings
	Circulated air intake blocked	Remove the circulated air intake blockage
# 407	No 230 V operating voltage	Restore 230 V operating voltage
	230 V fuse defective	Replace 230 V fuse (see Combi operating instructions)
# 408	No gas supply in Mix mode	Check gas supply. See fault # 507 (electronic heating continues in Mix mode)
# 412	Open window above cowl (window switch)	Close windows
# 419	Overheating protection has been triggered	Reset overheating protection (see Combi operating instructions) (gas heating continues in Mix mode)
# 507	Gas cylinder empty	Replacing a gas cylinder
# 516 # 517	Gas cylinder or quick-acting valve in the gas supply line closed	Check gas supply and open valves
	Gas pressure regulation system iced up	Use regulator heater (EisEx)
	Butane content in the gas cylinder too high	Use propane. Butane is unsuitable for heating, particularly at temperatures lower than 10 °C.
	Combustion air infeed or exhaust outlet is sealed	Inspect openings for obstructions (slush, ice, leaves, etc.) and remove any obstructions
	Gas pressure regulation system faulty	Inspect / replace gas pressure regulation system
# 607	Max. number of fault resets reached	Wait 15 minutes and reset fault

Fault code	Cause	Remedy
# 621	Room temperature sensor or cable faulty	Inspect the room temperature sensor cable, replace if faulty Check the resistance of the room temperature sensor. 15 °C – 16.2 kOhm / 20 °C – 12.6 kOhm / 25 °C – 10.0 kOhm Replace room temperature sensor if faulty
# 624	FrostControl heating element has a short circuit	Disconnect heating element plug from electronic control unit. Replace heating element

If these measures do not remedy the fault or if fault codes are displayed that you cannot find in the troubleshooting guide, contact Truma Service.

Troubleshooting guide (Combi Diesel heating system)

Fault code	Cause	Remedy
# 111	Room temperature sensor or cable faulty	Inspect the room temperature sensor cable, replace if faulty Check the resistance of the room temperature sensor. 15 °C – 16.2 kOhm / 20 °C – 12.6 kOhm / 25 °C – 10.0 kOhm Replace room temperature sensor if faulty
# 122	Lack of fuel due to insufficient fuel tank filling, tank has run empty and / or vehicle is on a slope	Fill tank with fuel. Then fill the fuel line as described in "Initial start-up" (see Combi Diesel operating instructions).
# 131	No connection between heater and control panel	Make connection between heater and control panel
# 132	FrostControl heating element has a short circuit	Disconnect heating element plug from electronic control unit. Replace heating element
# 150	Warm air temperature exceeded:	
	Not all warm air ducts are connected	Check whether the 4 warm air ducts are connected
	Warm air outlets blocked	Check the individual outlet openings
	Circulated air intake blocked	Remove the circulated air intake blockage
# 151	Water temperature exceeded in winter mode:	
	Water temperature sensor excessive temperature	Switch off appliance and allow it to cool down. Fill boiler with water
	Warm air outlets blocked	Check the individual outlet openings
	Circulated air intake blocked	Remove the circulated air intake blockage
# 152	Water temperature exceeded in summer mode:	
	Water temperature sensor excessive temperature	Switch off appliance and allow it to cool down. Fill boiler with water
	Warm air outlets blocked	Check the individual outlet openings
	Circulated air intake blocked	Remove the circulated air intake blockage

42 

Fault code	Cause	Remedy
# 160	Undervoltage < 10.2 V	Check battery voltage, charge if necessary. Short-term immediate measure. Switch off major consumers or start up the vehicle engine until the heater starts to operate (approx. 4 minutes) Battery capacity inadequate, if necessary exchange old battery
# 161	Overvoltage > 16.4 V	Check battery voltage / voltage sources such as the charger
# 162	Open window above cowl (window switch)	Close windows
# 164	No 230 V operating voltage	Restore 230 V operating voltage
	230 V fuse defective	Replace 230 V fuse (see Combi operating instructions)
	Overheating protection has been triggered	Reset overheating protection (see Combi operating instructions)
# 170	Risk of low voltage < 11.5 V	Use the electrical power from the battery sparingly, e.g. restrict lighting Charge battery
# 255	Heater has no 12 V power supply	Ensure that the 12V power supply is available
	No connection between heater and control panel	Make connection between heater and control panel

If these measures do not remedy the fault or if fault codes are displayed that you cannot find in the troubleshooting guide, contact Truma Service.

Troubleshooting guide (air conditioning system)

Fault code	Cause	Remedy
# 1	Failure (short circuit or broken cable), room temperature sensor	Contact Truma Service
# 2	Ice sensor (inside) triggered	Inspect the filter and replace it if necessary
# 4	Ice sensor (outside) triggered	Keep the air inlets / outlets on the roof free of obstructions such as leaves
# 8	IR receiver unplugged or cable broken	Check the connection of the IR receiver
# 17	Voltage drop at 230 V ~ power supply	Check 230 V ~ power supply

If these measures do not remedy the fault or if fault codes are displayed that you cannot find in the troubleshooting guide, contact Truma Service.